

7月 ふれあい祭り
9月 敬老祝賀会
11月 文化祭・芸能発表会
12月 そば打ち教室

笠間市社会福祉協議会 稲田支部 みかげ会だより

平成29年3月1日発行

発行 笠間市社協稲田支部
支部長 長谷川 泉
編集 稲田支部広報委員会
印刷 大堀企画

活動報告

おしゃべりサロン

平成28年7月17日(日) 稲田公民館に於いて講師 矢口圭二先生(笠間市文化財保護審議会委員)をお招きして演題「徳川光圀と稲田神社の四神旗」のお話を聞きました。参加者は27名でした。

- 稲田神社とは、
イ. 祭神 クシナダヒメミコト(古事記)
クシナダヒメミコト(日本書紀)
ロ. 延喜式内大社(えんぎしきないたいしゃ)
延長5年(927年)に完成した「延喜式」の中の「神名帳」に「大社」とある。
ハ. 鎌倉時代には17町歩の土地(神社の領地)を所有した。
ニ. しかし、室町時代の後半には、京都が衰えたように、稲田神社も領地を失い、境は荒廃する。
- 徳川光圀(水戸藩第二代藩主)と四神旗
元禄7年(1694)江戸へ御参府の節、笠間道御上り稲田社ヲ拝見

し、尊き宮が、(このように) 零落したことに心を痛み、神主善太夫を江戸で神道を学ばせた。それ以後、のぼりのを御寄進以下略(義公(光圀)遺事より)

- 四神旗(しじんぎ) 四流(しりゅう)(現在、茨城県歴史館へ寄託)
横72センチ、縦120センチ 絹地・錦織り(茨城県指定文化財)
元禄11年(1698)6月25日に四神旗を奉納し、天下太平と將軍家の福寿増長を祈願した。この旗の右下に「四神の御旗を敬(うやうや)しく常州新治郡稲田神社へ奉納す。元禄の歳源光圀つつしんで具(そな)ふ印」とある。



ハイキング

平成28年10月30日、参加者20名は午前9時10分 稲田西念寺駐車場を出発、一路福原(関戸)の「終(ひいらぎ)山」を目指しました。西念寺へ関戸神社へ終山登山口で小休止～終山着(10時30分)、山頂で記念写真と休けい後10時45分出発～関戸神社～中原邸(小休止)～西念寺12時30分着。終山登山口では、地元の海老原さんから「ホテル」と終山「石灰岩」のお話を聞くことができました。終山頂上から加波山、稲田中学校、出雲大社、ゴルフ場、等の眺望がすばらしかったです。また、みんなで、お茶を飲みながら色々お話ができました。「来年は、一回ではなく二回計画してほしい」という意見がでました。晴天に恵まれ、全員無事に解散することができました。



終山山頂



“中原さん差し入れありがとうございます”

敬老会(協力)

平成28年度 稲田地区敬老祝賀会は、9月19日(日)の祝日、稲田公民館に於いて、対象者75才以上485名のうち参加者55名 ボランティアの皆さん30名 アトラクションボランティア35名(公民館利用者;フラダンスの会員さん)地域の皆さん、20名等多くの皆さんが祝ってくれました。

来賓の方々には、笠間市長(代理)、稲田公民館長、同運営審議会委員長、稲田小学校・中学校の校長先生などが出席されました。

第一部は式典、第二部はアトラクション(フラダンス)として盛大に祝賀会が行われました。

本敬老会は、稲田ボランティア会(約30名)の皆さんが実行委員会を組織し、案内状の作成、配布式典を実施して来ましたが、本年は、案内状配布は区長さん、駐車場係と司会者は公民館兼社協役員が行いました。

地域の皆様が、地域のために尽くしてくれた高齢者のみなさんを祝うことができてよかったと思います。



米寿の皆さんを囲んで

芸能発表会(協力)

第13回稲田公民館芸能発表会は、平成28年11月20日稲田公民館に於いて、盛大に行いました。(参加者延130名)

カラオケ、フラダンス、石切音頭、親鸞踊り、ひよっこ踊り、三味線、社交ダンス等々の種目に、皆さんからの拍手や、声援が送られ、大会を盛り上げてくれました。“また来年を楽しみにしています。”との声や賞讃の言葉が聞かれました。



三味の音色がきこえます



石切音頭



“稲田ハワイ”で踊っています

文化祭(協力)

今年で第63回目を迎えた、稲田公民館文化祭は平成28年11月5日(土)～6日(日)の2日間、稲田公民館に於いて開催されました。

いなだ保育所、稲田幼稚園、稲田小学校、稲田中学校からたくさんの方が出品されました。また、蘭クラブの皆さん、ちぎり絵、写真、生花、工芸品、飾りびな、俳句等々数多くの作品が所収しと集まりました。(作品総数130点余り) 来場者総数255名、最終日(11月6日)には、入賞者を招いて、表彰式を行いました。

各賞;J A理事長賞、筑波銀行支店長賞、稲田郵便局長賞、稲田石材組合理事長賞、稲田公民館館長賞



表彰式

友愛訪問

平成29年1月21日稲田地区の80歳以上のひとり暮らし高齢者42名を対象に民生児童委員と稲田社協役員が訪問しました。

この事業は、社協稲田支部と高齢者の方々の“ふれあい”と“安否確認”を目的として行われ、本年が三回目です。高齢者の皆さんには、『紅白饅頭』を贈り『元氣ですか。これから長生きして下さい。何かありましたらご連絡下さい。』と民生委員から名刺を渡し戸別訪問が無事終わりました。

反省会では、来年も継続することを確認しました。